

## 令和3年度「赴任前実践力養成講座」開催！

—令和4年4月に教職に着任する4年生・大学院生34名が参加しました—

令和3年12月18日(土)13:30～、教職課程運営センター主催で、赴任前実践力養成講座が開催されました。参加者より、赴任するまでに教科経営や学級経営について何をどのように準備したらよいか。また、教員(非常勤・期限付任用等)として働きながら教員採用選考試験対策と両立するためにはどうしたらよいか報告がありました。さらに、教職支援アドバイザーから、助言や激励の言葉が送られました。



—期限付き採用、臨時的任用など悩みを相談—

—KJ法による話し合い活動を体験—

## 令和4年度教員採用選考試験対策(教職課程運営センター主催)

### 「第1回面接練習・研修会」Zoomで開催します！

—令和4年2月12日(土)13:30～15:00、約49名が参加予定！—

急激なオミクロン株感染拡大の影響により、対面からZoomによるオンライン面接へと変更することになりました。基礎力養成期(8～10月)から応用力伸長期(11～1月)に入りました。直前完成期(2～8月)に入る前の重要な時期です。計画的に取り組みましょう。

### 緊急レポート—急激なオミクロン株の影響を受けた東京都内小学校の現状—(R4.2/7)

政経学部政治行政学科 卒業生 相原 翔太

話は変わりますが、急激なオミクロン株の感染拡大により、現場は混乱しております。タブレットを使用したオンラインでの授業配信や分散登校など、様々な課題があります。そのため、日々移り変わる事に臨機応変に対応し、日々の学級運営を滞りなく行なっていくことが重要です。このことにより、先を見通して計画をもってあらゆる事象に備えて準備することの重要性を学びました。教職員という職は日々変化があり、それに対応する視野の広さが求められていると思います。学生の皆様には、現実を直視するとともに、さらに、先を見通して行動する事を心がけることが大事だと伝えたいです。

## 令和3年度楓教育会「第2回役員会」を開催しました！（報告）

—久しぶりの対面による役員会に感動！！—

令和3年12月4日（土）14：00～ 国士舘大学柴田会館「会議室」

はじめに、田代和正会長から、「コロナ禍の中、2年間続いたWeb役員会から、今回対面による会が開催でき、大変嬉しく思います。学生のため、母校の発展に寄与できる楓教育会に発展できるよう頑張りましょう」とあいさつされました。

国士舘大学同窓会を代表して、山内善司顧問からは、「同窓会本部として、コロナの影響を受けながらも学生のために尽力しています。楓教育会への援助金について、今後とも支援して参ります。全国で学生が活躍できるよう教員採用選考試験対策を宜しく願います」と激励の言葉を寄せられました。



議題として、令和3年度事業報告および令和4年度事業計画は承認されました。次に、楓教育会創立20周年記念事業については、世代交代を促して、会員相互交流・拡大を図るきっかけとし、母校の発展に寄与していく。また、教職を目指す学生を支援する楓教育会を理解してもらう機会にするため、記念式典・記念講演は総会時に行い、記念誌としてまとめることになりました。楓教育会ホームページ運営については、庄子眞也副理事長から、「グーグルの共有ホルダー、スマホも対応できるようにする」など、リニューアルの概要について報告がありました。（詳細は、[教職の国士舘を推進する楓教育会 | 真の教育者 我が国士舘に期待する \(kokushikan-kaedekyoikukai.com\)](https://www.kokushikan-kaedekyoikukai.com)をご覧ください。）また、新しい首都圏・関東地区代表者を選出するために、同窓会の指導を受け、各都県代表者を選出することになりました。コロナ禍対策として、「副理事長、副事務局長、三役会議」が行われていますが、会則の変更が必要です。そのために、令和4年度総会で提案することになりました。

## 先輩からのメッセージ

国士舘大学には「学び放題」の教職支援室があります。相談しよう！

平成26年度 体育学部体育学科 科目等履修生 野津原 元気

令和4年度採用さいたま市立学校教員採用選考試験 特別支援教育担当教員として、合格しました。

この度、教職支援室の坂本徳雄先生より、国士舘大学で教職課程を学び教員を目指す学生に「あなたの経験をぜひ後輩に伝えてほしい」と大役を仰せつかりました。僭越ながら皆さんにメッセージを寄稿させていただきます。

### ①大学は「学び放題」

「〇〇放題」と聞くとその種類にもよりますが、多くの方が「元を取らないと！」と思うのではないのでしょうか。大学生である皆さんは、「学び放題」の真っ只中にいます。毎日の講義や友人との関わり、大学以外での経験など今しかない時間の使い方をして、「元を取った！」と思えるような学生生活を送ってほしいと思います。必ず自分の財産になります。

### ②「教員採用選考試験は情報収集がカギ」

教員を目指す多くの方には、教員採用試験が待ち受けています。先述した通り、「教員採用選考試験は情報収集がカギ」です。試験内容や日程、過去問、教育時事など押さえておくべき情報は多岐にわたります。教育のスペシャリストの力を大いに活用していくことをおすすめします。国士舘大学には、「学び放題」の教職支援室があり、皆さんの夢を応援していただきます。少しでも「教職支援室に相談してみようかな」と思った方は、確実に夢へと一歩近づいています。

終わりに、私自身も教員としてのスタートラインに立ったばかりです。近い将来子どものために共に汗を流す仲間となれることを楽しみにしています。

.....  
教師になるという目標を叶えよう！

— 一人の勉強では限りがある。教職支援室を活用しよう！ —

文学部教育学科卒業 阿部日向子

(現 埼玉県宮代町立百間中学校教諭)

自分一人で勉強できることは限られています。筆記の勉強は行えますが、面接の練習や論文の練習などは他の人に頼らないと上達しないと思い、学部の先輩にアドバイスを受け私は大学3年の中頃から教職支援室に通い始めました。

私の教職支援室の利用は主に論文対策と面接の対策です。教職支援室にいらっしゃる先生方は、元々実際に教壇に立たれていた先生であり、また校長先生や教頭先生になり教師を採用する立場を担っていた先生方です。なので、実際に教壇に立っている教師目線と採用する立場としての目線の二つを兼ね備えています。論文の実際に評価されるポイントや面接のときの服装や態度、様々なことをアドバイスしていただける貴重な場所です。また、年に3回ほど教職支援室の先生方が開いてくださる面接対策の機会もあります。

国士舘にいる教師を目指す学生に対し、とても尽力してくださります。たくさんの教職支援室の先生方にお世話になって、教師になるという目標を叶えられるよう頑張ってください。

.....  
教員を目指す学生に向けて —教員になる夢を諦めるな！！—

政経学部政治行政学科卒業生 相原 翔太

私は、2020年に国士舘大学政経学部政治行政学科を卒業しました。そして、令和4年度から東京都の小学校教員として正式に働くことが決まっています。私が教員になるまでの過程をここに綴り、教員を目指す皆さんの参考になれば幸いです。まず、国士舘大学では、中学校社会科と高校の地理歴史、公民科の3種類の免許を取得しました。大学在学中は、高校の教員を目指し勉学に励んでいました。目指すにあたって、教職支援室にて、小論文や面接の指導をしていただいていた。しかし、令和2年度の教員採用試験には、不合格になってしまいました。教員になる夢を諦めることができず、教職支援室に相談しました。教職支援室の先生方は、親身に相談に乗っていただき、卒業後に明星大学通信教育学科にて、小学校の免許を取得することを勧められました。卒業後は、明星大学にて小学校の免許をしつつ、産休代替職員やアルバイトをしながら過ごしました。また、小学校の免許取得しながら

小学校の教員を目指し勉強をしました。卒業後も、教職支援室で小論文や面接の指導をしていただきました。指導をしていただき、無事教員採用試験に合格することができました。教職支援室の先生方はいつでも親身になって、教員を目指す人を応援してくれます。是非、本気で教員を目指す人は活用するとことを勧めます。

**管理職を目指す先生方へ**

**令和3年度第3号 「教育管理職選考の概要」 B選考概要より**

国士舘大学楓教育会 副会長 竹中 綺子

**【受験資格】** 申込日現在、日本国籍を有し、東京都公立学校教員として勤務する者のうち、次の(ア)又は(イ)に該当するものとする。

(ア) 平成32年3月31日現在、年齢満39歳以上54歳未満のもので、現に主幹教諭又は指導教諭である者。

(イ) 平成32年3月31日現在、年齢満46歳以上54歳未満の者で、現に主任教諭又は主任養護教諭の職にあり、平成32年3月31日現在、主任教諭歴2年以上である者。

**【選考方法】 【一般区分】**

○第一次選考：論文1題（1500字から2000字程度）2時間

○第二次選考：個人面接

○日常の勤務実績

**【推薦区分】**

○第一次選考 免除 ○第二次選考 面接 ○日常の勤務実績

※ 都立学校に合っては校長、区市町村立学校にあつては校長及び区市町村教育委員会から、東京都教職員研修センターの実施する、その年度の「教育管理職候補者B養成講座」の受講者として推薦を受け、決定した者。講座修了した者は、第一次選考を免除し、第二次選考（個人面接）及び日常の勤務実績により選考する。

**「東京都の教育に求められる教師像」**

「教育に対する熱意と使命感を持つ教師」

- ・子供に対する深い愛情
- ・教育者としての責任と誇り
- ・高い倫理観と社会的常識

「豊かな人間性と思いやりのある教師」

- ・温かい心、柔軟な発想や思考
- ・幅広いコミュニケーション能力

「子供の良さや可能性を引き出し伸ばすことができる教師」

- ・一人一人の良さや可能性を見抜く力
- ・強化等に関する高い指導力
- ・自己研鑽に励む力

「組織人としての責任感、協調性を有し互いに高め合う教師」

- ・より高い目標にチャレンジする意欲
- ・若手教員を育てる力
- ・経営参加への意欲

「東京都教員人材育成基本方針」  
(平成20年10月 東京都教育委員会)

**「今後の教育施策における重要事項」**

- 1、 全ての子供が学び成長し続けられる教育の実現
  - 2、 新しい価値観を創造する力を育む教育の推進
  - 3、 世界で活躍できる人材の育成
  - 4、 社会的自立に必要な力を育む教育の推進
  - 5、 悩みや課題をかかえる子供に対するサポートの充実
  - 6、 障害のある子供たちの多様なニーズに応える教育の実現
  - 7、 オリンピック・パラリンピック教育の推進
  - 8、 子供たちの学びを支える教師力・学校力の強化
- 「東京都教育施策大綱～東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて～」  
(平成29年1月 東京都)

※訂正 楓教育会だより第8号 pp.5 (6)【教諭】②文章組織⇒分掌組織に訂正をお願いします。